アドミッション・ポリシー（抜粋）

【知識・技能の評価】

（1）情報学・データサイエンスを学ぶために必要な数学や英語の基礎学力を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

（2）論理的に物事を考え、自身の考えを文章あるいは口頭で表現できる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

（3）情報社会に深い関心と興味を持ち、社会課題の解決および新たな価値の創造に強い意欲を持っている。

（4）基本的なコミュニケーション力を備え、多様な考えや意見に耳を傾けて対話できる。

入学試験情報（予定）

情報データ科学部　情報データ科学科

入学定員	一般選抜		特別入試	
	前期日程	後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
100名	60名	10名	20名	10名

学費情報（令和5年度現在）

入学料（予定額）	282,000円
授業料（予定額）	年額535,800円（半期267,900円）

※授業料の改訂が行われた場合には、改訂時から新しい授業料が適用されます。

アクセス

■秋田まで

●飛行機

札幌から――約1時間

東京から――約1時間

名古屋から――約1時間30分

大阪から――約1時間30分

●新幹線

東京から――約4時間

仙台から――約2時間15分

■JR秋田駅から、秋田大学手形キャンパスまで約1.3km

●徒歩：秋田駅東口から約15分

●バス：秋田駅西口バスのりば
12番線から秋田中央交通
手形山大学病院線
約5分「秋田大学前」下車

情報データ科学部に関するQ&A

Q1 文系出身でも情報学やデータサイエンスを学ぶことはできますか？

はい。情報学やデータサイエンスの基盤となるのは数学の知識ですが、本学部では文系出身で数学Ⅲを学んでいない方や、理系出身であっても苦手だった方向けの「入門数学」という科目を用意しています。

本格的な情報系の学びを始める前に、数学の中で特に必要な分野に重点を置いて短期的に学ぶことで、どんな方でもスムーズに専門教育に進むことができるカリキュラムとしています。

Q2 秋田大学の他に情報学やデータサイエンスを専門的に学べる大学はありますか？

日本で初めてデータサイエンスを中心とした学部を設置したのは滋賀大学（データサイエンス学部）でした。その後も全国に情報学やデータサイエンスを学べる類似の学部が設置されています。

一方、東北地方に目を向けると、私立大学では東北学院大学に情報学部があるものの、国立大学において独立した情報系の学部を設置している大学はいまだありません。

本学部は、東北地方の国立大学において初の情報学・データサイエンス系の学部として、地域のデジタル化を推進できる、あるいは、日本の情報関連産業をけん引できる人材の育成を目指しています。

Q3 どのような資格などを取得できますか？

所定の科目を履修することで、高等学校教諭第一種免許状（情報）を取得することができます。また、ITに関する基本的な知識を証明できる国家試験（ITパスポート試験や基礎情報技術者試験など）にも挑戦することができます。

秋田大学 総務企画課　新学部設置・学部改組準備室

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
Tel.018-889-2268　Fax.018-889-2219
E-mail : ds_somu@jimu.akita-u.ac.jp

2023年10月発行

※記載内容について、今後変更することもありますので、ご注意ください。

秋田大学
Akita University

国立大学法人 秋田大学

情報データ科学部

※仮称、設置構想中

2025年4月開設

デジタル社会で活躍する
ITエンジニア・データサイエンティストを育成

様々な分野で活躍できる人材育成の3つのポイント

1. 情報技術やデータサイエンスを活用できる教育
2. 社会課題を解決するための応用分野に関する教育
3. アントレプレナーシップを養う教育

～ 情報技術やデータサイエンスを活用し未来をつくろう ～

文系の方・理系の方ともに受験可能！

Akita University
Faculty of Informatics and Data Science

※記載内容について、今後変更することもありますので、ご注意ください。

設置の理念と養成する人材像

設置の理念

コンピュータ技術の発展により高度情報社会となりましたが、Society 5.0のような新たなデジタル社会を構築していくためには、世の中にあふれる様々な情報やデータを収集して分析し、社会課題を解決する新たな価値を創造できる「デジタル人材」が必要とされており、情報データ科学部では、以下のように養成する人材像を定めています。

養成する人材像

情報学とデータサイエンスを体系的に学び、身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り、新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を養成します。

情報データ科学部における学びの特色

情報データ科学部は、入学後に様々な科目を学び、知識や技能を身に付けていく中で、ITエンジニアやデータサイエンティストなどを目指すのか、あるいは、大学院に進学してより専門性を高めるのかを選択できるよう「情報データ科学科」の1学科編成からなる教育課程で、以下の3つの学びの特色があります。

① 情報学・データサイエンスを体系的に学べる教育課程

情報学・データサイエンスに関する知識や技能を基礎から身に付けるため、入学時から体系的に学ぶことができる教育課程となっています。

② 情報学・データサイエンスを応用する科目を設定

本学部では，人を中心とする情報技術に関する「人間情報系」、人間の日常生活における動作支援に関する「知能ロボティクス系」、安全・安心な地域づくりに関する「防災・エネルギー情報系」の3つを、応用分野（研究対象）として科目群を設定し、学生の志向に合わせた教育を行います。

③ アントレプレナーシップの養成

アントレプレナーシップとは、急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出す精神であり、デジタル社会PBL科目において、実践力を磨く教育を行います。

教育課程の概要

入学

高校での文理の区別によらず受験可能な入試を実施

1年次 / 2年次 / 3年次 / 4年次

教養基礎教育

【基礎教育科目】
- 基礎微分積分学
- 基礎統計学 など

【教養教育科目】
- 初年次ゼミ
- 大学英語 など

※1～2年次で履修する科目
数学や幅広い教養を身に付ける

専門教育

① 情報学・データサイエンス基盤科目

【データサイエンス系】
- 基礎AI学
- 機械学習 など

【コンピュータサイエンス系】
- 基礎情報学
- Cプログラミング など

【ネットワーク系】
- 情報セキュリティ
- IoTとネットワーク など

【人間情報系コア】
- ヒューマンコンピュータインタラクション など

※1～3年次で履修する科目

② 情報学・データサイエンス応用科目 ※3年次で選択履修する科目群

【人間情報系】
- データサイエンスとオープンデータ
- 応用生体計測 など

【知能ロボティクス系】
- ロボット制御プログラミング
- 生体運動計測とデータサイエンス など

【防災・エネルギー情報系】
- 都市災害シミュレーション
- エネルギーとデータサイエンス など

③ デジタル社会PBL科目

【デジタル社会PBL】
- デジタル社会のプラクティス
- DXプロジェクト実践
- ベンチャービジネス論
- データサイエンスとマーケティング
- 地域経済とICTビジネス など

※1～3年次で履修する科目

卒業研究

【卒業研究】 ● 卒業研究課題 ● 研究プロポーザル ※4年次で履修する科目

卒業

卒業後は、さらなる専門性を高める大学院進学 or 様々な分野におけるデジタル人材として活躍

ITエンジニア等 / システムエンジニア等 / 防災システム等のデータサイエンティスト / 官公庁・金融・観光等のデータサイエンティスト / 大学院

※記載内容について、今後変更することもありますので、ご注意ください。

IT業界で活躍しているOBからのメッセージ

平成27年3月修了 博士（工学）
村上 龍希さん（秋田県出身）
現 ヤフー株式会社
テクノロジーグループサイエンス統括本部
在学中は、
「感性情報を考慮した人物画像処理の開発に関する研究」に従事

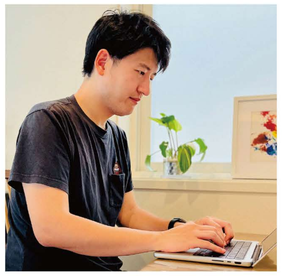
※社名・所属は取材時点(2023年9月)のものです。

現在の職務内容について

私はヤフー株式会社でディスプレイ広告のサービス改善に従事しており、現在は予約型広告（掲載期間と表示回数を保証する広告）の在庫予測・配信計画システムや、組織内共有ツールの開発・運用をリードしています。「Yahoo! JAPAN」は、月間約830億のページビューと約8500万人のアクティブユーザーを誇り、大規模なユーザーデータを有しています。私の担当している広告を含むヤフーのサービスは、このビッグデータから新たな価値を創出しサービス改善に取り組んでいます。まさにデータサイエンスが仕事に直結していると言えます。

仕事のやりがい

とても多くの人々が私たちのサービスを利用しているため、サービスを止めることなく、常に内容を更新していくことに大きな責任を感じています。一方で、サービス改善がインターネットユーザー、広告主、提携パートナーなど広い範囲に届けられていく様子には、大きな達成感があります。また、サービス改善につながる仮説を立て、データ分析による裏付けを行い、その仮説をもとに仕組みをアップデートする、という一連の過程を迅速に進めることもやりがいの一つです。



情報データ科学部で学ぼうとする方へのメッセージ

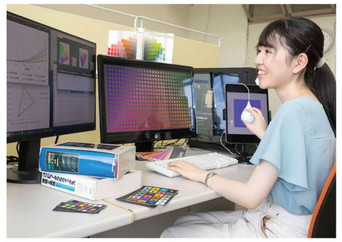
昨今の生成AIの登場により、手軽に機械学習を利用することが可能になったため、データサイエンスの門戸はますます広がっています。デジタル社会における課題は何か？どのようなデータをどのように活用して解決するのか？などの発想やアプローチの創出が求められています。情報データ科学部の学びは、まさに課題の解決に必要なデータ解析と新たな価値創出のスキルを身に付けられるため、この学部の卒業生は、新たなデジタル社会へ変わりつつある日本や世界の発展に大きく貢献できるでしょう。

情報学・データサイエンスを学ぶ学生からのメッセージ

（現）人間情報工学コース学部4年次
宮古 菜々さん（秋田県出身）
〈研究分野〉
感性の計測・評価、カラーマネジメント、
ヒューマンインタフェース
「CAPTCHAへの適用を目的としたディスプレイ表示色名の認識範囲解析」

（現）人間情報工学コース大学院2年次
田村 智一さん（福島県出身）
〈研究分野〉
位置情報サービス、データサイエンス、
時空間情報分析、情報工学、モバイルマッピング
「GPS ログデータのクラスタリングによる滞在場所の検出とジオフェンスの自動生成」

情報学はどんな学問ですか？



情報学とは、デジタル技術を用いて人の暮らしを豊かにする学問です。私たちが想像する近未来を創る技術について学び、開発にも携われるという面白さがあります。例えば、人間の生体情報を数値化して医療・福祉に役立てたり、AIを使うことで単調で大変な仕事を自動化したりすることができます。

私は、スマートフォンなどの画面に表示される色の感じ方を解析する研究を行っています。Webページの入力フォームで人間による入力であることを確かめるために、歪んだ文字の画像(CAPTCHA)が表示されることがありますが、この画像の文字に色を付けて、人間にだけ正解を伝えられる仕組みを考えています。

将来の夢（就きたい仕事）などは？

これまで一緒に扱われてこなかったコトやモノを繋ぎ合わせて新しい技術を開発することが私の目標です。機械がどれだけ賢くなったとしても、それを生み出し、利用するのは人です。デジタル化していく社会の中で、“人が使いやすいもの”を模索していきたいと考えています。

秋田大学のおすすめポイント＆アドバイスを！

秋田大学では、人間社会に密接に関わる情報学を学ぶことができます。机上の空論で終わるのではなく、今学んでいることが社会でどのように役に立っているのかを、実感できる機会が多いと感じています。

プログラミングができなくても大丈夫です！私は、大学に入学してから初めてプログラミングに触れましたが、今では研究で利用できる程に上達しました。人の暮らしを豊かにするデジタル社会を夢に描き、情報データ科学部で最新の情報技術を学んでみませんか？

データサイエンスはどんな学問ですか？

データサイエンスとは、大量のデータから有益な情報を得る手法について学ぶ学問です。収集された大量のデータを可視化することで傾向を把握したり、未来の需給を予測したりすることができます。私の研究では、スマートフォンの各種センサ（GPS、加速度センサなど）から取得したログデータを時空間的に分析し、ユーザがどんな場所に興味を持っているかを調査することで、観光アプリなどのサービス向上を目指しています。

将来の夢（就きたい仕事）などは？

人々の暮らしを便利にするアプリやシステムの開発に携わりたいと考えています。現在研究で開発しているプログラムでは、新しい機能を追加する際に様々な部分に変更が生じる点を課題と感じています。こういった、機能の拡張性やアップデートへの保守性を意識した設計について習得し、長期に渡って利用されるものを作れるエンジニアになりたいです。

秋田大学のおすすめポイント＆アドバイスを！

秋田大学ではコンピュータの原理やプログラミングだけではなく、人間を中心としたシステムの重要性についても学ぶことができます。高速に動作するのも大切ですが、どのくらい処理が進んでいるかをユーザに知らせることで安心感を与えるのも良いシステムの一要件と言えます。

デジタル社会の実現に向け、大量のデータを活用する重要性が飛躍的に高まっています。講義や演習を通して身近なアプリの仕組みや利用されているデータサイエンスとデータエンジニアリングを学習し、課題解決のためのシステムが作れるようになります。是非、情報データ科学部で学び、高いデータ解析・活用スキルを身に付けてください。

※記載内容について、今後変更することもありますので、ご注意ください。